



丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

横浜市立丸山台小学校 学校だより
No. 9
令和4年1月7日(金)

新年に 思う

校長 倉本 恵

令和3年大晦日の横浜は雪が舞い、令和4年元旦は 暁の茜色の空に細い三日月が輝く素晴らしい朝となりました。よし、今年こそはよりよい年になるはず！と思ったのは、私だけではないはずです。

感染拡大防止の努力はまだまだ続けていかなければなりません、明るい未来を信じて、前向きに進んでいきたいと思えます。どうぞ今年もよろしくお願ひいたします。

さて、昨年12月17、18日に、本校の学びの特色の一つである「食の学びを通して健やかな体と心を育む」活動の発表の場として「丸小フェスタ」が行われました。(各学年の発表の内容は、次頁をご覧ください)生活科や総合的な学習の時間を核として、他の教科等も組み合わせ「食」に関して学びを深めていく子どもたちの姿、その学びをコーディネートしICTも駆使して支える教職員の姿は、私に「一緒にやってみたいな！」という気持ちを持たせてくれました。

その1 コマツナを自宅ベランダで育てて、お正月のお雑煮に入れました。
(プランターによく日が当たるよう洗濯物を干す位置を変えたり、鳥よけに網を張ったり、いろいろチャレンジしました)



その2 4年生の取組を思い出しながら、年末の生ごみを細かくしたり糠



や土と混ぜたりして、発泡スチロールコンポストで肥料作りを始めました。(コンポストの中に手をいれると、本当に温かく発酵の熱を体感しました。また、年始の収集日初日の家庭ごみの量を、大幅に減らすこともできました。)

その3 実家の大掃除をして、押し入れに眠っていたお菓子類をいちょう坂商店街会長の本間さんのお店に持っていき、フードドライブに参加しました。(もったいないと好みに合わなくてもため込んでしまう戦前生まれの両親も、他の人の役に立つなら、と素直に片付けに応じてくれて、こちらも助かりました)

本校の子どもたちの食の学びに出会ったからこそ、私の生活の幅や視野が広がりました(冬休み中は時間の余裕もあり、子どもたちの学びを自分の生活に取り入れることを楽しみましたが、工夫して無理なく持続可能にしていくこと、が私の今後の宿題です・・・がんばります！)

昨年末の12月24日に、横浜市教育委員会より令和4年度に向け「感染拡大前に学校教育を戻すのではなく、教科等の予備時数を必要最低限まで削減するなど限られた時間の中でメリハリをつけた質の高い学びを実現するよう努める」といった通知が出されました。

これから私たち職員は、学校評価アンケートや市学力学習状況調査の結果等も踏まえ、本校に必要な学びの実現を目指し、教育課程の改善に取り組んでいくこととなります。

学びを学校で閉じず、家庭やまちにもその学びを広げたり、伝えたり、学校生活以外でも活用したり、そういう力を伸ばしていくために、どんな教育活動を展開するべきか、本校の食の学びは、私に考えるきっかけを与えてくれたと感じています。

子どもたちが丸小フェスタで発信したことが、ご家庭でもまちでも細く長く話題になったり一緒に取り組んだりして、単なる発信で終わらず、質の高い学びとなっていくことに期待する年頭です。